84 グローバル・サウス諸国に向けた国際協力推進対策

令和7年度補正予算額 616百万円

く対策のポイント>

グローバル・サウス諸国の農林水産分野の生産性の向上と持続可能性の確保を図るため、アジア地域における品種の選抜等や、当該選抜品種等を活用した GHGの削減の推進、アフリカ等における日本企業の現地展開の推進を図ります。

<事業目標>

- 高温耐性イネの系統の作出、低コスト・低GHG栽培技術の確立(40系統以 上、3 技術以 上「令和13年度まで〕)
- 海外漁場で操業する海外まき網漁業の漁船数(許可隻数)の維持(30隻「令和11年度))

く事業の内容>

1. アジア地域の食料安全保障に向けた高温耐性イネ品種育成及び低コスト・低 GHG栽培技術の確立 246百万円

アジア地域での食料安全保障の確保に向けて、国際稲研究所(IRRI)と日本研 究者が連携し、気候変動に対応した日本でも活用可能な高温耐性イネ品種の選抜 等や、当該選抜品種等を活用した低コスト・低GHG排出栽培技術を開発します。

2. 太平洋島嶼国持続的漁業推進緊急支援事業 120百万円 日本が入漁している太平洋島嶼国との協力関係強化に向けて、漁具や船外機など

水産資機材等の供与と当該資機材等の適切な使用・維持管理等に関する技術指 導を実施します。

3. アフリカ向け日本企業ビジネス展開緊急促進事業

アフリカ諸国が抱える食料安全保障に係る課題解決への貢献やアフリカの成長マー ケットの獲得に向けて、日本企業の革新的な製品や技術等を活用した現地でのビジ ネス展開を支援します。

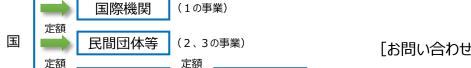
4. ウクライナ農業回復緊急支援事業

民間団体等

200百万円 ウクライナ農業の早期回復に向けて、現地での日本企業による調査・実証・商談や相手国 カウンターパートの招へいなど、日本の農林水産・食品関連企業の事業展開を支援します。

<事業の流れ>

拠出金



民間団体等

(4の事業)

(1の事業)

「お問い合わせ先〕

50百万円

(1の事業)

(2の事業) 水産庁国際課

ウクライナにおける農業復興に際して、

課題・ニーズを的確に把握し優先順

位の設定を行うことが必要

(3、4の事業)輸出・国際局新興地域グループ

農林水産技術会議事務局国際研究官室 (03-3502-7466)

(03-6744-2366) (03-3502-5913)

く事業イメージ>

豊富な遺伝資源や知見を持つIRRIと 気候変動に対 の連携による高温耐性イネ品種育成 応した**安定的な** 食料生産体系 高温環境下・節水条件での低コスト・ の確立が課題 低GHG栽培体系の確立

日本を含むアジア地域 の食料安全保障貢献

食料安全保障や海洋安全保障の観点から、 太平洋島嶼国との関係強化が喫緊の課題

太平洋島嶼国への資機材の供与等の漁業協力を充実させ、これらの国との協力関係を強化

アフリカ諸国では未電 化やコールドチェーンの 未整備等により、食料 の牛産性が低位にとど まり、食料安全保障

上も課題が山積



これらの社会課題の 解決に向けて、日本 企業の革新的な製品 や技術・知見を活用



現地投資など、競争が激化

現地における食料安全保 障の強化や農村の所得 向上等に資するとともに、 日本企業のアフリカ市場 へのビジネス展開を促進

ウクライナ側の官民関係者の招へい等を通 じた意見交換に加え、日本企業による現 地調査のためのミッション派遣等を実施

入漁料の高騰や他の漁業国による現地化・